

小松の食文化（梶助）

茶の宗匠、千利休（1522～1591）の曾孫で、裏千家流の創設者でもある仙叟宗室（1622～1697）は、現在の石川県にあたる地で、茶の湯の文化の興隆に貢献しました。金沢城の加賀藩主前田利恒のもと、茶道の指南役を務めました。今日でも、茶道の洗練された精神は、数多くの石川県民のライフスタイルを支える重要な要素となっています。

加賀藩の中心に位置していた小松市が、現在も誇りとするのが茶の湯の伝統です。来場者が気軽に楽しめる市主催の茶会が、年に4回、芦城公園の仙叟屋敷と玄庵で開催され、主な流派の伝統に則った茶が振舞われます。長保屋は、通年営業の由緒正しいお茶屋で、360年も前にこの土地で茶の栽培を始めた一族が経営しています。

茶の湯とのつながりのおかげで、小松市では懐石料理も大きく成長しました。特別な場面で出される懐石料理は、千利休が完成させた正式な茶会の一部として提供される食事「茶懐石」から生まれました。

料理店「梶助」の梶太郎料理長は、千利休が大切にしていた信条「一期一会」を守っています。この言葉は、どの出会いも——どの食事、どの瞬間も——、二度と繰り返されることはないので、大切にしなければいけないという意味です。梶料理長の懐石料理には、素材選びから芸術的な見せ方まで、豊かな季節感が反映されています。店で出される家宝の九谷焼は見事なコレクションで、そのなかには人間国宝やその後継者、弟子たちの作品もあります。その銘品の数々が、ここで楽しむおいしい食事に華を添えてくれます。梶助では、カジュアルなカウンター席に加え、設えの違う個室が5部屋あり、正式な茶事だけでなく、2名様から50名様までさまざまなタイプの会食にも対応が可能です。

茶屋 長保屋茶舗

〒923-0926 石川県小松市龍助町 81-1

通信販売はこちらまで www.kagabouiricha.com

料理店 梶助

〒923-0952 石川県小松市大和町 141

「梶助」の詳細情報ははこちらまで www.tvk.ne.jp/~kajisuke

茶室「仙叟屋敷ならびに玄庵」 芦城公園内

〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町 19 番地

芦城公園の茶会をはじめ、小松市内で開催されるイベントの情報ははこちらまで explorekomatsu.com